

日本工学院専門学校	開講年度	2020年度	科目名	実習・演習 1	
<b>科目基礎情報</b>					
開設学科	音響芸術科	コース名	全コース	開設期	前期
対象年次	1年次	科目区分	必修	時間数	180時間
単位数	6単位			授業形態	演習
教科書/教材	毎回レジュメ・資料を配布する。参考書・参考資料等は、授業中に指示する。				
<b>担当教員情報</b>					
担当教員	小林 彰、丸山 由美、横田 実、増田 有示		実務経験の有無・職種	有・レコーディングエンジニア	
<b>学習目的</b>					
この科目を受講する学生は、音響職の様々な分野（音楽・テレビ・ラジオ・PA)の基礎技術を学び、これらの仕事を理解し将来自分の進むべき方向性を見極めることを目的とする。また、将来自分の専門分野の領域を超えた仕事や、他分野との連携で仕事にも対応できるような人材の育成を目指す。更に音響業界必須の礼儀作法については重点項目とし、始業および就業の挨拶はもとより身だしなみや普段の言葉づかいなどは厳しく教育する。					
<b>到達目標</b>					
この科目では、まずは挨拶が出来るようになること、メモを取る癖を身に付けることを必須とし、その上で音響業界に共通する基本的な知識・技術を身に付けること、スタジオと言う場所の構造や運用ルールを身に付けることを目標とする。また、スタジオワークにおいてはグループでの行動が主となるため、コミュニケーション能力はもとより自分で考えて行動できるような人材づくりを目指す。					
<b>教育方法等</b>					
授業概要	この授業は、他の講義科目と連携することにより、講義部分をできるだけ簡略化し、主に機器の操作を学びます。スタジオ機器の基本的運用法を身に付けられるよう全員機材の操作を行うようにし、複雑な操作となる場合には反復的に学習する機会を持つ。				
注意点	この授業では、挨拶をはじめとする学生間・教員と学生のコミュニケーションが最も重要となる。グループで仕事を進めるにおいて、特に支障となる遅刻・欠席については厳しく指導し、授業時数の4分の3以上出席しない者については単位を与えない。社会への移行を前提とした受講マナー、服装、言葉遣いで授業に参加することを求める（詳しくは、最初の授業で説明）。				
評価方法	種別	割合	備 考		
	試験・課題	0%			
	小テスト	0%			
	レポート	0%			
	成果発表 (口頭・実技)	50%	実技試験（時間制限を設けての作業試験）		
	平常点	50%	積極的な授業参加度、授業態度によって評価する		
<b>授業計画（1回～15回）</b>					
回	授業内容	各回の到達目標			
1回	半田付けとケーブル巻き	キャノンコネクタのハンダ付け方法の習得とケーブルをきれいに巻けるようになる			
2回	マイクロホン1	マイクロホンの種類と特性、構造についての理解			
3回	マイクロホン2	マイクロホンの指向性による音の聞き比べとヘッドアンプの調整法の習得			
4回	パッチシステム	パッチの構造理解と音の立ち上げ方の実践			
5回	マイクロホンセッティング	ナレーション収録におけるマイクロホンのセッティング法の習得			
6回	ミキシングコンソール1	RECステータスでの信号の流れを理解する			
7回	ミキシングコンソール2	MIXステータスでの信号の流れを理解する			
8回	PAシステム1	小型のミキサーでのシステム構築（マイク、CDからの音出し）			
9回	PAシステム2	大型のミキサーでのシステム構築（AUX回線を使用してのリバーブ付加）			
10回	音楽録音実習1	マイクロホンアレンジとCUEシステムのセッティングの実践			
11回	音楽録音実習2	現代音楽の収録の実践 サウンドチェック～収録～2chミックスの作成			
12回	MA作品の制作実習1	台詞の収録と効果音の収録方法の習得			
13回	MA作品の制作実習2	音楽の付け方と編集、ミキシング法の理解			
14回	ラジオ番組の制作実習1	本番の流れを知る 機材の使用法、ディレクション法の習得			
15回	ラジオ番組の制作実習2	ミニ番組制作実践 台本の作り方の習得			